

区分		事業	目的・内容等	実施時期
1	展示等	1 基本展示展示替え	展示ユニットを展示替えを年2回行う	6月・12月
		2 企画展	収蔵資料を活用し、企画展を開催する (①藤間柳庵展、②遺跡展示会、③県巡回展、④昔の道具展)	①4/21~7/9 ②秋(調整中) ③12/16~1/24 ④早春(調整中)
		3 特別展	資料を特別に借用し展示会及び関連事業を開催する。 (デジタルアーカイブ及びアプリ等を活用した展示)	7/29~10/1 (予定)
		4 講演会	企画展・特別展等の展示に関連した講演会を開催する (藤間柳庵、デジタルアーカイブ、関東大震災)	3回
		4 ギャラリートーク	基本展示・企画展示解説実施周知と実施する	通年
		5 ワークショップ等	展示に関連した、自然や歴史・文化に関するワークショップを企画・開催する	随時
		6 レファレンス対応	市民・利用者からのレファレンス対応	随時
	学校教育	1 学校等団体来館対応	学校等からの団体見学に依頼に基づき対応	随時
		2 出前授業(学校・団体等)	学校等に出前授業を行い教育普及活動を推進する	随時
		3 職場体験学習対応	市内中学生の職場体験学習生を受け入れ学校教育に協力する	9月~2月
		4 中学校連携事業検討・実施	自然や歴史・文化に関する部活動を行っている中学生と協力した調査研究、教育普及活動の検討・準備を進める	6年度からの実施を目指す
		5 博物館実習検討・準備	大学で学芸員課程を履修しているものの博物館実習生として対応し、教育に資する	6年度からの実施を目指す
	社会教育	1 図書館との連携	博物館図書室と連携し、展示と関連したブックトークやレファレンス等の教育普及活動を行う	通年
		2 公民館・青少年会館・美術館等との連携	公民館や青少年会館、美術館等と連携した講座やワークショップ等の事業を行う	随時
	市民参加	1 子ども博物館サポーター検討・準備・実施	博物館活動への児童・生徒の参加を促し、教育機会の創出を図ることができるよう検討と準備を進める	6年度から試行実施を目指す
		2 博物館パートナー制度検討・準備	市民・利用者(18歳以上)の博物館活動への参加制度の実施に向け検討・準備を進める	6年度から試行実施を目指す
	広報	1 広報(紙媒体)	博物館パンフレット、展示会等のイベントを広報するチラシ等の作成、市広報紙及び地域紙等への連載掲載、事業等を広報	通年
		2 広報(電子媒体等)	ポータルサイトの更新、SNSを活用した情報発信	随時
		3 ミュージアムグッズ	普及を目的にミュージアムグッズの検討し試行販売する	
		4 デジタルアーカイブ及びアプリケーション	開発したポータルサイト及びデジタルアーカイブ、アプリケーションを維持管理・運用し、内容の充実と利用促進を図る	通年
	2 収集保管	1 収蔵資料整理・管理・デジタル化	収蔵資料等のデジタル化を進めデジタルアーカイブに掲載する	通年
		2 収集保管方針の検討 寄贈資料対応	自然や歴史・文化に関する資料の寄贈の申し出についての考え方を整理するとともに、収集・保管に努める	随時
		3 くん蒸処理業務	IPMに配慮しつつ、展示室・収蔵庫・新規受入資料被覆燻蒸委託	7月、12月

3 調査研究	1	調査研究活動	市民と協力した調査研究活動を視野に、テーマ選定と方法についての検討を行い、試験的な調査活動を行う	通年
	2	研究紀要編集・刊行	調査・研究活動の成果をまとめ、教育普及を目的に報告書として刊行する。	6年2月発刊予定
4 民俗資料館	1	旧和田家住宅・旧三橋家住宅保存・公開・活用	旧和田家・旧三橋家住宅を適切に保存し公開と活用する	通年
	2	旧藤間家住宅及び敷地保存・公開	旧藤間家住宅の敷地及び主屋等を適切に保存し公開と活用する	通年
	3	旧藤間家住宅資料整理	旧藤間家住宅の収蔵資料の公開に向け、整理し保管する	通年
	4	旧藤間家住宅保存活用計画策定	関係課かいと連携し、旧藤間家住宅主屋の耐震改修に向け保存活用計画を策定し事業を推進する	通年
5 博物館運営関係	1	開館スケジュール管理・広報	年間・月間スケジュール調整及びその広報を行う	通年
	2	館外敷地・駐車場管理	駐車場や敷地内を適切に管理する	通年
	3	電気・機械設備保守	電気・空調・音響・防災等各種設備機器点検し適切に管理する	通年
	4	博物館登録手続き	県教育委員会に博物館登録手続きを行う	令和5年度中
	5	博物館協会関係事務	日本博物館協会・県博物館協会の研修や会議等に出席し、学芸員の育成・向上を図る	通年